

## 『化学の日、化学週間 2023』報告

### はじめに

「化学の日」を制定して10年目になり、「化学の日・化学週間」が徐々に浸透してきている。日本化学会、「夢・化学-21」委員会主催のイベントも定着し、多くの参加者が化学を楽しんでいる。また、従来の本部、支部におけるイベントはもちろんだが、近年は、会員自身が所属する機関（企業、大学、高専、高校、中学、研究所、科学館等）などでも「化学の日」を中心に多くのイベントが実施されている。本会では、これらイベントを通じて化学の普及の一助にしてもらえるよう「化学の日缶バッジ」「周期表クリアファイル」などのグッズ類を提供している。2023年はすでに缶バッジ約1万2000個、周期表クリアファイル約2万7000枚の配布が済み、多くの子供たちの手元に化学の日や化学の面白さをアピールするグッズを届けることができた。

さらにメディアの協力も重要で、2023年は一般紙4紙（日経新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞）と専門紙2紙（日刊工業新聞、化学工業日報）が「化学の日」特集を発行、一般の方々へも広く化学の魅力、社会と未来への貢献を周知することができた。中でも毎日新聞では会長インタビューを記事体広告として掲載し、日本化学会が子供向けの取り組みに力をいれていることをアピールできた。今後も様々なルートで「化学の日」の活動をPRし、誰もが知る日になるよう取り組みを続けたい。

本稿では「化学の日」関連のイベントをいくつかピックアップして紹介する。

### イベントピックアップ

#### ◆四国型次世代科学技術チャレンジプログラム（旧：愛媛大学グローバルサイエンスキャンパス）（愛媛県）

10月15日（日）愛媛大学にて四国型次世代科学技術チャレンジプログラム（旧：愛媛大学グローバルサイエンスキャンパス）が開催され40名が参加した。参加者たちはタンパク質に関する講義とタンパク質の酵素としての働きを調べる実験およびそれらについての発表会（討論を含む）を行った。またお土産に周期表クリアファイルなどが配布された。

#### ◆君たちの将来と化学の未来—早大で過ごす化学な週末 2023（東京都）



10月14日（土）「君たちの将来と化学の未来—早大で過ごす化学な週末 2023」が早稲田大学 西早稲田キャンパスおよびオンライン配信で行われ、中学生、高校生を中心に約130名が参加した。

当日は早稲田大学の化学系の教授4名による講演が行われ、その後に「化学はこれからの半世紀の生活をどう変えるか？」をテーマに、早稲田大学の研究員や企業で活躍するOB・OGによるグループインタビューが開催された。また国際化学オリンピックに関して、説明や出場者からのコメント、2010年の会場となった実験室の見学ツアーを実施した。参加者は早大の化学を様々な角度から触

れられるイベントとなった。

#### ◆化学の日 わくわく実験教室（神奈川県）

10月22日（日）

日本化学会普及・交流委員会 実験

体験小委員会はは

まぎんこども宇宙

科学館にて化学の日

わくわく実験教室

（テーマ：「かみオムツでエネルギー？

—かみオムツにでんきをためられるかな？—）」を開催し30名が参加した。過去にも行ったことのあるテーマだが、感

染制御に配慮し、実験の回と回の間での

器具の消毒の手間を減らすために流れを

ブラッシュアップした。自宅トライで

できるように、かみオムツの分解の方法を

説明し、分解したかみオムツを見せて、

高吸水性ポリマー（SAP）を確認したの

ち、水を吸わせる実験を行った。自重の

200倍の重さの水を吸うことがわかり、

興味深々であった。次に、水を吸った

SAPに炭素棒を入れ、電池に繋ぎ、次に

電池を外し、電子オルゴールと交換する

と音が出て驚いていた。いつものイメー

ジングでキャパシタの充電、放電の解説

も行った。テキストを持ち帰ってもらっ

た。

#### ◆10/23は化学の日！簡単で不思議な科学実験に挑戦しよう！（神奈川県）



10月15日（日）「はまぎん こども宇宙科学館」で「化学の日」の小学生向け実

験イベント「10/23は化学の日！簡単で不思議な科学実験に挑戦しよう！」を開催した。1回1時間の実験教室を3回(10:00~11:00, 11:30~12:30, 13:30~14:30)実施し37名の参加者が「不思議なカラーマジック！」「光を分けよう！」の2つの実験を楽しんだ。参加者には化学の日の缶バッジと周期表クリアファイルがお土産として配布された。

#### ◆なぜナニ化学クイズショー(神奈川県)



10月29日(日)「はまぎん こども宇宙科学館」(神奈川県横浜市)で化学の日のイベントとして「なぜナニ化学クイズショー」を開催した。「なぜナニ化学クイズショー」は、化学に関するクイズを3問出題し、実際に実験をしながら答えの確認、解説をするという形式で進められた。午前と午後の2回の開催で延べ50人程度の未就学児から小学生が参加した。(クイズ詳細)

「ケミカルライトは暑い日と寒い日でどちらの方が明るく光るでしょう?」, 「レーザーの光のすじを、偏光板を回しながら見ると、どのように見えるでしょう?」, 「青緑色にした紫芋の色水にドライアイスを入れると、色水の色はどうなるでしょう?」

#### ◆埼玉大学理学部一般公開企画「理学部デー2023」(埼玉県)

11月25日(土)大学祭に連動した理学

部一般公開企画として、理科実験を通して児童・生徒・学生、また一般社会人の方を対象に科学に親しんでもらうことを目的に参加型理科実験を実施し60名が参加した。化学に関連する分野として、溶液のpHと色素の色変化、フォトクロミック化合物とその利用、酵素反応について、実演および参加型実験を行った。約60名が参加した。実験参加者には周期表クリアファイルがお土産として配布された。



#### ◆第113回化学への招待(熊本県)

11月3日(金)熊本大学黒髪南キャンパスにて第113回化学への招待が開催され2400名が参加した。イベントでは周期表クリアファイル、化学の日缶バッジなどが配布された。

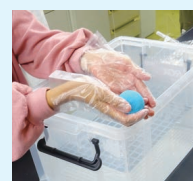


#### ◆ミニ化学への招待(鹿児島県)

11月11日(土)~12日(日)鹿児島大学理学部にてミニ化学への招待が開催され220名が参加した。本イベントは鹿児島大学大学祭(理学部祭)との共催で、小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)を対象に、「木の葉にメッキしてみよう」など体験実験を実施した。「木の葉にメッキしてみよう」では、パラジウム・スズ系による、いわゆる無電解ニッケルメッキによる木の葉のメッキ処理を体験してもらった。その他、スライムづくり体験なども実施した。

#### ◆大阪教育大学公開講座 子と親の楽しいかがく教室(大阪府)

11月18日(土)大阪教育大学にて子と親の楽しいかがく教室が開催され延べ110人(親子のペア55組)が参加した。当日は、「かがみを作ろう」、「作る入よくざいバスボムを作ってみよう」、「宝石のような石けんを作ろう」など合計8テーマの実験を実施した。また、お土産に周期表クリアファイルなどが配布された。



#### ◆千葉市科学館「化学月間2023」(千葉県)

10月1日(日)~11月12日(日)の間、千葉市科学館は「化学月間2023」を開催した。会期中にはボランティアによる化学実験講座や化学講演会などが開催された。また、記念品として化学の日缶バッジや周期表クリアファイルがプレゼントされ、来場者を楽しませた。

4月から2024年版周期表クリアファイルの配布を開始しました。また、今年度の缶バッジデザインコンテストは7月告知、10月23日化学の日締め切り、12月各賞発表、2025年4月頃配布開始の予定。2024年度は2023年度の大賞作品を缶バッジとして配布しますのでご了承下さい。

なお、日本化学会、化学の日の普及活動のために上記グッズをご希望される方はE-mail: pr@chemistry.or.jpまでご連絡下さい。

[飛渡久美子(日本化学会)]

© 2024 The Chemical Society of Japan